

通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2025年12月号 編集:杉山



学習の様子



第2回在籍校訪問が続いています。授業参観、難聴理解授業、トリセツを持参するなど、通級生のニーズに応じた在籍校訪問を行っています。特に、難聴理解授業を実施する際は、各学年の児童生徒の発達や実態や在籍校の実情に合わせた目標や内容で実施しているので紹介します。

小学生の指導

低学年(2年生)

低学年は、自分が使っている補聴機器について調べたり、聞こえにくい場面についてカードで確認したりして、自己理解につながる学習を行っています。難聴理解授業では、「(聞こえやすくするために)聞こえを助ける道具を使っているよ。」「話しかけられても気づけないことがあるけれど、みんなと仲良くしたいよ。」と、自分の言葉で説明しようとする姿が見られ、理解を求めたり、必要なことを自分で伝えたりする力につながっていると感じます。また、説明を聞いた友達が、「反応がなくても無視をしているわけではないんだ。」「相手に伝わるように、話しかける距離や声の大きさを工夫しよう。」と、コミュニケーションの取り方について互いに考えるきっかけとなり、かかわり方が変わってきたという事例も聞いています。

発表練習の様子



小学生の指導

中学年(3年生)



<難聴理解授業>



<社会科見学>

学校生活を振り返り、自分の聞こえにくさについてクラスの友達に知ってほしいことを考え、難聴理解授業を行いました。クイズを通して補聴器やロジャーの大切さについて話したり、友達が協力してくれることに対する感謝の気持ちを伝えたりすることができました。

自分でできる工夫として校外学習のときに聞き取りやすい方法を考える学習を行いました。社会科見学の際には、自分から話す人にロジャーを渡して話を聞く姿が見られました。

小学生高学年・中学生 グループ指導と難聴理解授業の様子

同じ中学校区の小学6年生と中学1年生で計画的グループ学習を重ねてきています。その中で、自己開示ができる仲間になり、それぞれが得意な『スポーツ』を通じて親睦を深め、日頃の学校での出来事や困りごとなどを話し合ったり、ワークシートにまとめたりする活動を行いました。後期は、難聴理解授業に向けての事前事後学習も共同で行い、よりよい発表方法や内容について考えるきっかけになりました。

中学生(1年生)難聴理解授業

高学年(6年生)



<困りごとの伝え合い>

ありがとうございます。



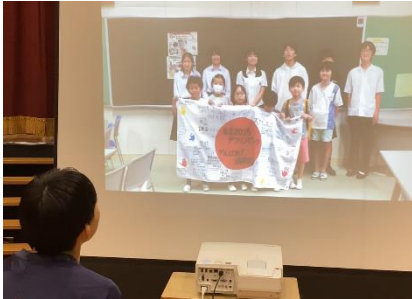
事前学習で、在籍校のみんなに伝えたいことを考えました。そして、当日は、クラスのみんなに感謝の気持ちを伝えることができました。



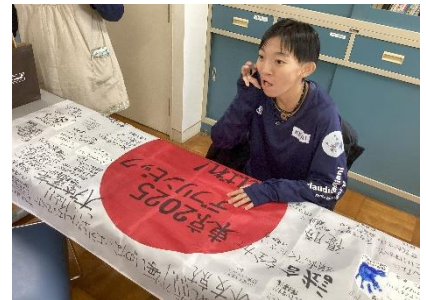
僕も、日本代表を目指します。

デフサッカー日本代表の活躍や憧れの松元拓巳選手のこと、将来の夢などについて友達に伝えることができました。

東京 2025 デフリンピック観戦レポート (田辺)



デフリンピック開幕前に、酒井選手が来校してくれました。通級生からの応援メッセージを手渡すと、『金メダルを取ってきます!』と力強いメッセージをいただきました。



福島県にあるJヴィレッジに行ってきました。こちらは、デフリンピックのサッカーの試合会場となっており、11月15日(土)に、女子日本代表の試合が行われました。アメリカ代表との戦いです。当日の会場の様子を田辺がお伝えします!



試合開始前の円陣!!
士気を高めていました💪



通級生のみなさんからのメッセージが書かれた国旗が、日本代表チームのベンチ裏に貼ってありました。酒井選手の背中を押してくれていたことは間違いありません。
頑張れ酒井選手! 頑張れ日本!!



パスがほしいことをジェスチャーで伝えていました。

大会前に酒井選手が「アメリカ戦が山場!」と話していた通り、攻め込まれることが多く苦しい試合展開が続きましたが、世界を相手に大舞台で戦う酒井選手がかっこよかったです!

スピードを生かしてドリブルで攻めたり、相手に抜かれないようにディフェンスしたり、持ち味を十分に発揮していました。



デフサッカーの特徴や会場の工夫



主審は、常に旗を持ち、試合開始やファウルの際、笛とともに旗でも合図を出していました。



QRコードを読み込むことで、会場内のアナウンスをスマートフォンに文字化できるシステムが使われていました。